

HOT & ほっと

あやせのこと、何でも知りたい…

イベント&ニュース

健康アイ

情報プラザ

HOT & ほっと



春の火災予防運動を実施

火の元に気を付けて



3月1日(月)~7日(日)の1週間、「その火事を防ぐあなたに金メダル」を合言葉に、全国一斉に春の火災予防運動を実施します。

この時期は寒さも峠を越え、火に対する警戒心が緩みがちになるほか、春特有の強い風が吹くことがあります。風の強い日は屋外での火気の使用は特に気を付けなければいけません。

☎ 予防課 ☎ 76-0119

一人一人ができる防火対策

火災は一人一人が注意をすることで防ぐことができます。日頃からの対策はもちろん、万が一火災にあった場合の対処法など家族で一度確認しましょう。

- 寝たばこは、絶対しない
- 家の周囲を整理整頓し、放火されにくい環境を作る



タイムスリップ

あやせ目久尻川歴史文化ゾーン ~江戸時代の種痘(天然痘の予防接種)~

天然痘(痘瘡)は感染力が強い上に致死率も高く、流行の周期や時季なども見だせなかったため、江戸時代の日本における脅威の一つでした。

江戸時代後期の吉岡村と小園村は、下総国佐倉藩(千葉県佐倉市)の飛地として、徳川幕府3代将軍家光の乳母、春日局の養子である堀田正俊の子孫が藩主として支配していました。

同藩は天保の藩政改革の一環として学制改革を実施しましたが、その改革の中で蘭方による医学の講義を行っていました。天保14(1843)年には、江戸の蘭方医である佐藤泰然を佐倉に招き、これ以後、佐倉は日本の蘭方医学の拠点になりました。

嘉永2(1849)年からは領内の農民に対して広く種痘を実施することになりました。また、嘉永4(1851)年吉岡村の瀧岡寺の住僧玄泰に同藩の医者である西淳甫が種痘を伝授しました。同藩は領内の農民に種痘を行うだけでなく、種痘を実施できる医者を吉岡村に育成しようとしていたと考えられます。こうしたことから同藩の飛地であった吉岡村や小園村の農民は、日本で早期に種痘を受けた人々ということになります。

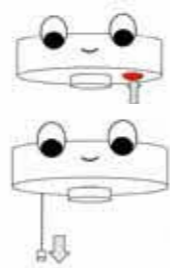
- ガスコンロやIHクッキングヒーターなどのそばを離れる時は、火を消すか電源を切ってから
- ストープは燃えやすいものから離れた位置で使う
- こたつの中に洗濯物などを入れない
- コンセントを定期的に清掃し、発火(トラッキング現象)を防止
- 万が一に備え住宅用火災警報器や住宅用消火器を設置する
- 仏壇のろうそくや線香を付けたままでその場を離れない

設置していますか? 住宅用火災警報器

同警報器は、火災が発生した際いち早く居住している人に知らせ、逃げ遅れを防ぐためのものです。設置していない方は早急に設置してください。

《設置義務化から10年 定期的に点検していますか?》

同警報器は設置から10年程度で電池が切れる可能性が高まります。点検・清掃を行い、正常に作動するか確認してください。ひもを引っ張ったりボタンを押したりしても作動しない場合は、電池切れや故障の可能性があるので交換が必要です。



《同警報器が役立つ事例》

- 居住者が鍋に火をかけたまま外出した。隣人が臭いと同警報器の警報音に気づき、火災になる前に発見・通報することができた
- 居住者が寝たばこをしてしまい、布団から発煙。寝室の同警報器が鳴り、気付いた居住者が布団を風呂場へ持っていき自ら消火。大事に至らなかった

防火意識を高めよう 防火作品(書道)入賞者

市では、火災予防運動事業の一環として、火災予防の普及と防火意識の高揚を図るため、防火作品(書道)を募集したところ、1171点の応募があり、56点が入賞しました。入賞者は次のとおりです(敬称略)。

- ▶ 市長賞 ▶ 片山芹夏(綾北小) ▶ 安藤沙羅(綾南小) ▶ 大友詩織(早園小) ▶ 高木詩乃衣(綾瀬小) ▶ 名越有里(城山中) ▶ 浜野結衣(春日台中) ▶ 佐々木楓音(城山中) ▶ 議長賞 ▶ 三好百香(綾瀬小) ▶ 増澤彩衣(土棚小) ▶ 田村いるは(天台小) ▶ 三木煌士(土棚小) ▶ 阿南柚希(綾瀬中) ▶ 尾上和花(城山中) ▶ 坂野杏奈(城山中) ▶ 消防審議会賞 ▶ 柏原咲那(早園小) ▶ 亀田咲希(天台小) ▶ 豊島茜(綾西小) ▶ 磯美月葉(天台小) ▶ 鈴木萌花菜(綾瀬中) ▶ 山田奈歩(北の台中) ▶ 中川未梨(綾瀬中) ▶ 消防長賞 ▶ 三木紅羽(土棚小) ▶ 中川花音(綾瀬小) ▶ 渡邊真歩(綾西小) ▶ 亀崎美波(天台小) ▶ 細野寧乃(城山中) ▶ 西岡佳穂(綾瀬中) ▶ 稻森楓歩(綾瀬中) ▶ 消防団長賞 ▶ 岡崎彩(落合小) ▶ 山野井寛人(綾西小) ▶ 鳥越結音(綾瀬小) ▶ 浜野真衣(土棚小) ▶ 菅野紗菜(綾瀬中) ▶ 栄明香里(綾瀬中) ▶ 金子真愛(綾瀬中) ▶ 消和会長賞 ▶ 木山美結(綾北小) ▶ 石亀快都(土棚小) ▶ 岡本優里(落合小) ▶ 栄豪大朗(綾南小) ▶ 三川綾乃(城山中) ▶ 松本弥樹(春日台中) ▶ 松澤想(綾瀬中) ▶ 防火協会賞 ▶ 菊地皇佑(北の台小) ▶ 山田晃平(綾南小) ▶ 尾上桃牙(綾西小) ▶ 伊達快生(綾瀬小) ▶ 佐藤愛菜(北の台中) ▶ 山岸遥(北の台中) ▶ 中田真愛(城山中) ▶ 綾瀬ロータリークラブ会長賞 ▶ 黒澤梨鈴(北の台小) ▶ 平澤凜(綾瀬小) ▶ 高石悠恵(早園小) ▶ 辻拓実(綾西中) ▶ 安達晴(北の台中) ▶ 森山碧乙(北の台中) ▶ 有田岬夕碧(城山中)



あやせのものづくりを支える
多様な人材から
ものづくり再発見

仕事も、コロナも、 負けるもんか

育児関係製品や室内除菌装置を作る(有)光製作所の梶山さん。明るく気さくな印象ながら、職人上がりの営業部長だ。高校卒業以来、その負けず嫌いな性格でさまざまな技術を身に付けた。「仕事に自信が付いた頃、設計の打ち合わせ中に価格計算を頼まれたことがありました。価格計算には材料、設計、人件費など、社内の全ての知識が不可欠です。その時、瞬時に計算できなかったことが悔しくて、猛勉強しました。今では設計も計算もこなす梶山さんへの相談が絶えない。

そんな梶山さんは、昨年度初開催のものづくり体験イベント「あやせ工業団地オープンファクトリー」の実行委員でもある。「オープンファクトリーは町工場が一般の方との接点を持ち、私たちの日常を、一般の方が“非”日常として楽しめる特別なイベントです。普段寡黙な職人がしゃべり、日常の仕事がエンターテイメントになる、私たちにとっても“非”日常な一日。今年度は新型コロナウイルス感染症のため、開催を何度も議論しましたが、暗い話題ばかりだからこそ、コロナに負けず、明るい取り組みで世間を元気にしたかった。今年度はオンライン開催ですが、ぜひ次回は工場で、音、匂い、雰囲気を感じてほしい」と熱く語る。町工場もコロナの影響を強く受けている。そんな中でも、梶山さんをはじめとした“負けず嫌いの職人達(実行委員会)”の思いは生き続けている。

☎ 工業振興企業誘致課 ☎ 70-5661

今年で26周年あやせ名産品会

| | | |
|--|---|--|
| <p>高圧手造りハム 〒252-1124 吉岡2366-8 TEL 0467(76)8611</p> | <p>大久保商店 〒252-1125 吉岡東5-2-14 TEL 0467(78)0010</p> | <p>パパボンパパ 〒252-1104 大上1-23-19 TEL 0467(76)7488</p> |
| <p>矢部商店 〒252-1121 小園1312 TEL 0467(78)3591</p> | <p>鈴保養鶏園 〒252-1113 上土屋中4-10-40 TEL 0467(70)2011</p> | <p>お問合せは各店舗にお願いします</p> <p>あやせ名産品会事務局 (綾瀬市役所商業観光課内)</p> |

綾瀬市オーエンス文化会館

綾瀬寄席公演日程 変更のお知らせ

2月11日の綾瀬寄席は5月15日に延期となりました。チケット返金ご希望の方は文化会館までお問い合わせください

| | | | |
|--------|--------------|--------|------|
| | | | |
| 14時開演 | 文化会館小ホール | 本戸銭3千円 | 発売中! |
| お問い合わせ | 0467-77-1131 | | |